

歴代会長

初代	花村 四郎	昭和 7年～	九代	長田 宗太郎	昭和22年～昭和49年
二代	東郷 重晴		十代	佐藤 永三郎	昭和50年～昭和54年
三代	川崎 克己		十一代	牛窪 正三	昭和54年～昭和57年
四代	苑村 四郎		十二代	長島 成和	昭和57年～昭和60年
五代	景山 収		十三代	牛窪 正三	昭和60年～平成7年
六代	武田 宗治		十四代	河内 一夫	平成8年～平成9年
七代	井上 亀五郎		十五代	加藤 洋右	平成10年～現在
八代	三輪 英一				

町会のおゆみ

大正14年牛やの原と言われた原っぱであった。(現・朝日ヶ丘町会) その荒野に15世帯が入植したのが始まりである。地主は青梅街道沿いの漬物や飯田東右エ門でその土地を浅田銀行地所部が宅地造成して売り出した。その時に移住した人達の合意で朝日会という会を作った。この地は豊多摩郡中野町小下町会に所管されていた。

昭和7年ころから人口が増えてきたのを機に、小下町会から分離し、朝日ヶ丘町会としてスタートした。初代会長は花村四郎氏(後、鳩山内閣時法務大臣)町会事務所を6番地、現在の本町2丁目34番にあった西教寺説教所の本堂を借り活動した。しかしこの寺は現在、存在していない。

戦後、連合軍の指令によって町会組織を禁止されたのを機に町会を解散し町会事務所も処分された。残念なことだ。町会会館を再興するのが最大願望だ。昭和22年防犯防火協力会として町会活動が再開された。昭和26年神輿新調。27年神輿蔵完成と同時に太鼓購入。昭和43年6月1日より住居表示が朝日ヶ丘から本町2丁目・3丁目となった。町会活動は旧朝日ヶ丘町会名で現在に至る。

町会活動

現在町会事業実施状況は春秋の交通安全週間の協力、学校夏休み中の桃園小学校、校庭でラジオ体操の実施。9月に氷川神社大祭、神輿渡御に参加。9月防災訓練実施。1月餅つき大会開催。弥生地区まつりに参加。町会内、防火・防犯パトロール等を行っています。

町会内史跡

□象小屋跡

江戸時代、交趾国(コーチ国、現ベトナム)からきた象が将軍徳川吉宗に謁見後民間に払い下げられた。

象は当時の天皇上皇にも謁見したが、このとき無位無官で宮中に入内した先例がないとして急遽従四位に序せられ、「広南従四位白象」と命名された。その象小屋が現在の朝日が丘児童館の場所にあった。

□中野最古の小学校

明治8年、宝仙寺境内にて寺子屋から始まり、中野区・杉並区の中で一番古い小学校、「桃園小学校」がある。

平成27年に創立百四十周年の記念式典が盛大に行われた。



氷川神社連合渡御神輿中野警察前